

2024 年度事業報告

事業の概況

認定された公益目的事業を継続し、着実に実施した。また、協会運営についても、円滑に実施することが出来た。

当年度に行った事業の概況は次の通りである。

I 公益目的事業部門

1. 糖類に関する正しい知識の普及・啓発のための事業及び食の安全を基本とした食育推進事業

(公益目的事業 1)

- (A) 業界最大手(株)ホームメイドクッキングの料理学校を媒体とした普及・啓発事業
全国直営校 56 教室、指定校（自宅で料理教室開催）50 教室、親子料理教室 56 教室の合計延 255,147 名の受講者に対し、当協会の講師（医学・農学博士）によるセミナーを通して糖類の正しい知識を身につけた専任講師が、通常の料理教室と食文化講座及び親子向け食育講座等に於いて、全国展開により普及・啓発事業を実施した。

イ. 東日本直営校 28 教室 135,557 名（当初計画 135,590 名）

ロ. 西日本直営校 28 教室 109,612 名（当初計画 109,610 名）

ハ. 指定校 50 教室 9,000 名（当初計画 9,000 名）

ニ. 親子料理教室 56 教室 978 名（当初計画 1,036 名）

上記の普及・啓発活動が各料理教室の受講者に有効に実施されているかを調査・指導のために協会職員が順次全国の料理教室に出張して実地見分した。

(B) 糖類セミナー事業

セミナー開催にあたっては各都市の地元ラジオ局と連携を取りながら、広く募集告知を行い開催した。セミナーでは講師（医学・農学博士）と参加者の間で質疑応答や意見交換を行い糖類に関する正しい知識の理解を促進した。

セミナー終了後にアンケート調査を実施し、参加者の啓発効果を確認した。

また、「人生 100 年時代」を知性や教養を更に磨き、毎日の生活をより健康で充実したものにするために「食・健康・医学・知識・教養等」の幅広いテーマでセミナーを開催した。

<糖類セミナー>

※講演テーマ「砂糖と健康セミナー」

イ.2024年9月17日 盛岡市 後援 株式会社IBC岩手放送

応募者 155名 参加者 82名 アンケート回答者 74名

ロ.2024年10月15日 福井市 後援 福井放送株式会社

応募者 232名 参加者 98名 アンケート回答者 92名

ハ.2024年11月12日 横浜市 後援 株式会社ニッポン放送

応募者 880名 参加者 288名 アンケート回答者 277名

<食育・知識・教養セミナー>

イ.2024年5月17日 東京都 講師・白井一幸氏

講演テーマ「2023WBC侍ジャパンの優勝は思考と行動にある」

応募者 235名 参加者 133名

ロ.2024年7月23日 東京都 講師・岩田明子氏

講演テーマ「不透明な世界と日本、生き抜くヒント」

応募者 328名 参加者 131名

ハ.2025年1月21日 東京都 講師・友利新氏

講演テーマ「体の中からキレイにする美容」

応募者 298名 参加者 128名

ニ.2025年3月12日 東京都 講師・林家たい平氏

講演テーマ「笑顔のもとに笑顔が集まる」

応募者 527名 参加者 207名

(C) 全日本小学生ドッジボール選手権大会協賛による普及・啓発事業

未来ある子供達の心身の健全育成を目的とした、全日本小学生ドッジボール選手権「春・夏の大会」に協賛した。

全国大会の参加者、その家族及び観衆に対し、体育館に横断幕「砂糖は脳と体に大切なエネルギー」を2枚掲出し、大型モニターで「砂糖動画」を投射し、「砂糖のひみつ」パンフレットを配布し普及・啓発を行った。また、全国大会出場チームの選手に対し砂糖に関する知識度を確認するためのアンケート調査を実施した。

主催：一般財団法人日本ドッジボール協会

後援：スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ協会

<夏の大会>

開催月日 2024年8月18日 開催都市 茨城県水戸市

参加都道府県数 46県 参加チーム数 48、参加人数 3,000名

(県予選参加チーム数 810、観客数 16,200名)

<春の大会>

開催月日 2025 年 3 月 30 日 開催都市 福岡県福岡市
参加都道府県数 44 県 参加チーム数 48、参加人数 2,880 名
(県予選参加チーム数 600、観客数 12,000 名)

2. 糖類に関する調査研究活動に対する助成及び糖類に関する公益活動を行う団体への助成事業

(公益目的事業 2)

- (1) 摂南大学 薬学部 微生物学研究室 講師 桑 名 利 津 子 氏
「プロバイオティクス細菌芽胞における糖と人口甘味料の発芽解析」

3. 糖類に関する情報の収集、整理、提供事業

(公益目的事業 3)

公益委員が中心となり、必要な情報収集を行い、知識を高め助成事業の研究課題等の審査に活かした。

4. 学芸員等を含む専門委員会で選定した特定美術品の展示、公開及び官公庁等の美術館への貸出しにより、広く国民の文化の発展に寄与する事業

(公益目的事業 4)

(1) 特定美術品の貸出

- (1) 貸 出 先 愛知県 碧南市藤井達吉現代美術館

会 期 2024 年 7 月 20 日～9 月 8 日

展覧会名 「松本俊介<<街>>と昭和モダン展―糖業協会と大川美術館の
コレクションによる―」

貸出点数 61 点

入場者数 6,046 名

II 収益事業部門

会館及び施設の管理運営並びに賃貸を行う事業

(収益事業 1)

- (1) 財務体質の強化をはかるために協会スペースの有効活用策について継続して検討した。
- (2) ビル管理、維持の合理化により更なる経費圧縮に努めて、本事業の費用対効果を高めることに努めた。

Ⅲ 管理部門

1. 2025 年 4 月 1 日から新しい公益法人制度が施行されます。新制度では法人の自律的なガバナンスの充実のため外部理事・監事の導入が義務付けられました。このことに対応するため理事会において外部理事・監事の導入を決議し、6 月開催の社員総会に諮ることとした。
2. 会報の発行
協会の公益目的事業や主催行事の趣旨徹底を図るため、また、会員相互の情報交換の場・交流の場として会員をはじめ協会の関連団体に向けて年 4 回（定期 8 月・2 月、特別号 7 月・12 月）発行した。
3. 情報機器による事務の合理化等により、適切な運営・管理を行うと共に、引き続き経費の削減に努めた。

協会運営に関する事項

1. 社員総会

2024 年 6 月 21 日午前 11 時より、当協会会議場に於いて、第 13 回社員総会を開催（出席正会員 208 名/正会員総数 273 名）次の議案を付議した。

第 1 号議案 2023 年度事業報告並びに 2023 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書並びに財産目録承認の件
原案の通り承認可決した。

第 2 号議案 定款一部変更の件＜特別決議＞
原案の通り承認可決した。

報告事項 ①2024 年度事業計画書並びに収支予算書（正味財産増減予算書）について説明・報告があった。

②糖業会館協会スペースの有効活用について説明・報告があった。

2. 理事会

当年度中 11 回開催し、総会提出議案のほか、「公益社団法人」の事業運営に関する諸案件をはじめとする当協会の主要業務につき審議、決定した。

3. 専門委員会

（1）会員委員会（委員長 矢田理事ほか 5 名）

当年度中 2 回開催（内 1 回は書面審議）し、会員の入会申込者の選考について審議し理事会に答申した。

（2）公益委員会（委員長 村上理事ほか 7 名）

当年度中 2 回開催し、公益事業関係予算、公益事業計画等を審議し理事会に答

申した。

(3) 行事委員会（委員長 永井理事ほか6名）

当年度中2回開催し、行事関係予算、協会行事の計画等を審議し理事会に答申した。

(4) 美術品委員会（委員長 小谷理事ほか5名）

当年度中2回開催し、美術品関係予算、官公庁等の美術館への貸出等につき審議し理事会に答申した。

4. 登記及び監督官庁への届出事項等

(1) 2024年6月27日、2023年度の事業報告等に係る提出書類を内閣総理大臣宛提出した。

(2) 2025年3月27日、2025年度の事業計画書等に係る提出書類を内閣総理大臣宛提出した。

5. 会員入退会者数（2024年4月1日～2025年3月31日）

入会	法人正会員	1社
	個人正会員	5名
	個人賛助会員	1名
退会	法人正会員	2社
	個人正会員	21名（内死亡7名）
	個人賛助会員	4名

6. 会員数（2025年3月31日現在）

法人正会員	15社（前年3月末16社）
個人正会員	246名（前年3月末262名）
個人賛助会員	27名（前年3月末30名）
会員総数	288名（前年3月末308名）

以上